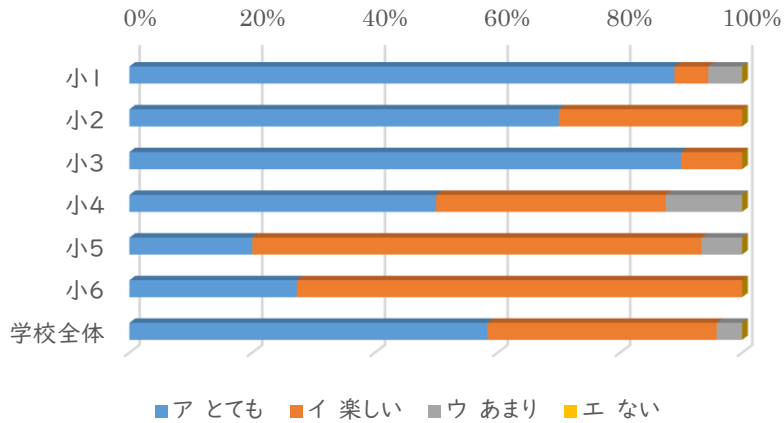


## 令和4年度 外国語に関する調査(R4.12月実施)と考察

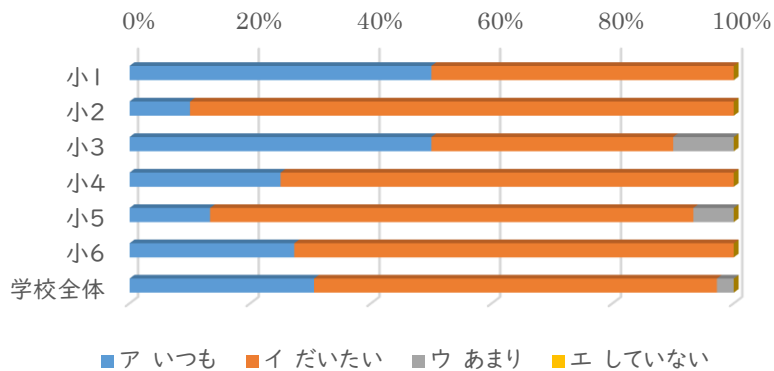
### Q1 外国語の授業は楽しいですか？



#### 【考察】

2年生、3年生、6年生は全員プラス評価(とても楽しい・楽しい)になっている。他の学年ではあまり楽しくないと回答した児童が若干いたものの、全体的にはプラス評価が概ね9割を超えているため、外国語は楽しい印象が強いと思われる。

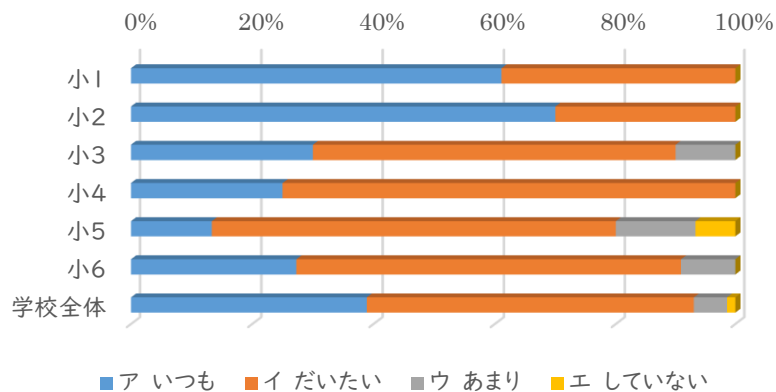
### Q2 相手に伝わりやすいようにはっきりした大きな声で話すことを心がけていますか。(クリアボイス)



#### 【考察】

全体で9割以上の児童がクリアボイスを意識して活動している。「あまり」「していない」と回答した児童の割合が減少し、「いつも」「だいたい」と回答した児童の割合が増えている。今後も、クリアボイスの意識を高められるようにしたい。

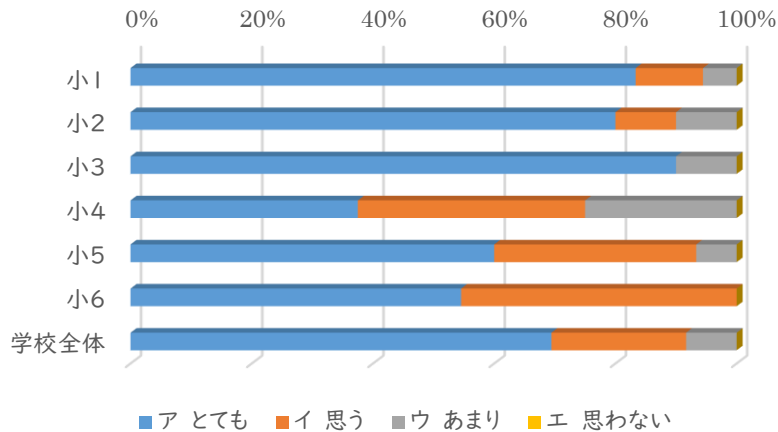
### Q3 相手の目を見ながら話すことを心がけていますか(アイコンタクト)



#### 【考察】

昨年度と比較すると、ほぼすべての学年においてプラス評価(いつも見ている、だいたい見ている)の割合が高くなっている。本校ではどの学年においても、4つのポイント(クリアボイス、アイコンタクト、スマイル、ジェスチャー)を意識させることを共通理解しているため、今後も継続していきたい。

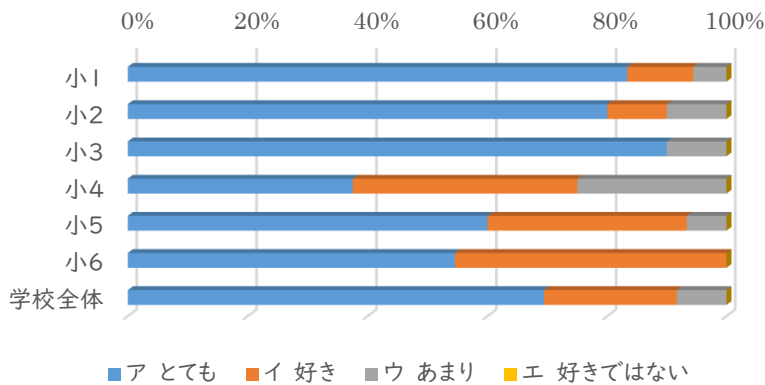
#### Q4 英語をもっと話せるようになりたいですか。



#### 【考察】

3年生は、「とても思う」と「あまり思わない」の2つに分かれており、二極化が進んだ印象を受ける。4年生は昨年度「とても思う」と回答した割合が8割を超えていたが、今年度はプラス評価の割合として見ても8割を満たしていない。児童が英語を話したいと思えるような授業づくりが求められる。

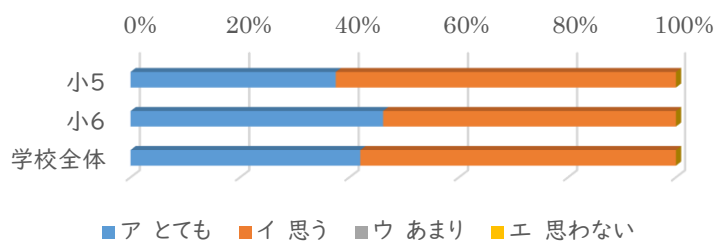
#### Q5 外国語科の授業は好きですか。



#### 【考察】

5年生、6年生は昨年度と比べ、プラス評価の割合が上がっている。4年生はプラス評価の割合が少し下がっている。また、昨年度の1、2、3年生はマイナス評価がいなかったが、今年度は「あまり好きではない」と答えた児童がいるため、好きになってもらえるような授業改善が必要である。

#### Q6 外国語科の授業はわかりますか。



#### 【考察】

昨年度の5・6年生が「とてもわかる」と回答した割合はどちらも20%未満だった。今年度は、「とてもわかる」と回答した児童の割合が増えている。今後も単元構成を大切にして授業づくりを行い「とてもわかる」の割合を増やしていきたい。

#### 【保護者の意見】

- 学校評価を通した保護者の意見をみると、「我が子は、外国語の学習が楽しいと言っている。」の項目では、4段階中の「3」と「4」を回答し、91.4%の保護者が肯定的評価をしている。また、88.9%の保護者が昨年度からの伸びを我が子の姿を通してとらえている。
- 天草市では、1年生から外国語を通じて、外国の言語や文化について親しんだり学んだりする授業が行われており、世界のいろいろな国の文化を大切にできる子供たちを育てる環境があり、ありがたい。
- 家庭の会話の中でも学習した英語の表現を使うこともあり、外国語の授業をとっても楽しいと言っている。